

主要内容

- デザインミーティング'95
- 第24回山口市民文化祭
- 山口市の戦後50年⑨

●発行/山口市役所 〒753 山口市亀山町2-1 ☎0839-22-4111 ●編集/企画財政部広報広聴課 ●印刷/森重印刷株式会社

市民交通災害共済受付中

毎月15日は、お年寄りの交通安全日
思いやりみんなですすめる交通安全
交通事故状況〈9月〉

- 発生件数 60 (累計 558 / 前年比+46)
- 死亡者 3 (累計 8 / 前年比 +1)
- 負傷者 64 (累計 600 / 前年比+40)



赤い羽根 やさしい真心を

10月1日、赤い羽根共同募金運動が全国で一斉に始まりました。道場門前のアーケード街で、県共同募金山口支会の人たち約50人が街頭募金。佐内市長も街頭で募金を呼びかけました。集まったお金は、お年寄りや障害者などの福祉活動に役立てられます。この日、アーケード街は「デザインミーティング'95」のイベントの一つ、黄色い風船で作ったイチョウのトンネルができ、すっかり秋の色に染まっていました。

10/15
1995年No.1158

■市報やまぐちは再生紙を使用しています。
(上段は、平成7年10月1日現在、下段は今年1月1日との比較)



135,412人
+1,024人



64,960人
+408人



70,452人
+616人



51,191
+917

デザインミーティング'95

セッション1

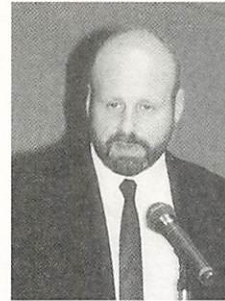
「ビジュアルの思想家」

パトリック・ゲデス

マード・マクドナルド

(哲学/エジンバラ大学教授)

ゲデスの思想の意義とその今日性についての講演



セッション2

「緑のパイオニア」

パトリック・ゲデスと

東洋思想

ダンカン・マクミラン

(美術史/エジンバラ大学教授)

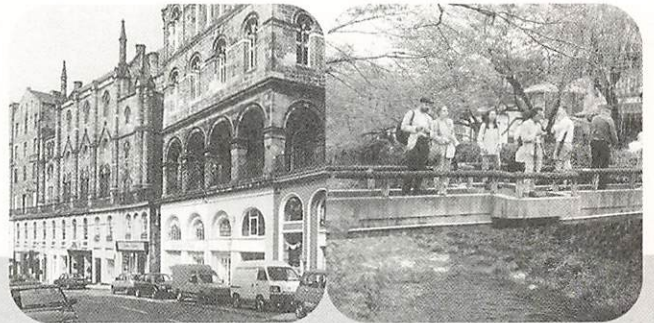
ゲデスの思想と東洋思想についての講演



パトリック・ゲデスは、植物学者でありながら、建築、都市計画、芸術など多彩な研究を行った人物です。都市計画の先駆者的存在で、地理学、生態学、社会学の視点から総合的にまちづくりを考え、都市計画の理論

エジンバラ~山口'95

芸術のまち山口とその環境



YICA設立準備会の主催で、9月29日から10月1日までの間、ニューメディアプラザ山口などで開催された「エジンバラ~山口'95」。英国・スコットランドのエジンバラより四人の講師を迎え、文化・芸術の観点から、今後の山口のまちづくりについて考えました。

や技術を確立。

このゲデスの思想について学ぶことで、エジンバラのまちづくりの根幹を探りました。

セッション3

「私の作品と雪舟」

アラン・ジョンソン

(美術/エジンバラ美術大学教授)

自身の作品と雪舟との関わりについての講演



セッション4

「エジンバラのまちづくり」

VS 「山口のまちづくり」

スライドを使って、お互いのまちとまちづくりについて紹介しあい、共通点や相違点、問題点などを比較対照。今後のまちづくりについて考えました。

セッション5

「ジェイムス・グレレイ」

(建築/エジンバラ美術大学教授)

「エジンバラは、ゲデスの思想の実験場として、そこに住む人々の視点を活かしたまちづくりが行われてきました。今では、まちの中心部がオールド・タウン(旧市街)とニュー・タウン(新市街)の二

つの部分からできています。交通渋滞が現在の大きな問題。これからは、まちの景観や土地の地形をこわさないように、それをうまく利用していく必要があり。自然とともに、そこに住んでいる人とともに、調和のあるまちづくりが大切」

山口の「まちづくり」

研究集団・創

「私たちのグループでは、都市の様々な地形や生態などをとらえるために、まちを歩いていきます。一の坂川、パークロードなど魅力あるゾーンを一体化する、回遊性のあるまちづくりを目標にしています。



もう一つの目標は、都市の記憶を継承するデザインをしたということ。大事なこと、市民と行政がうまくコミュニケーションをとるから、まちづくりを進めていくことだと思っています」

セッション1・2

一の坂川ワークショップ

最終日は、実際にまちの中に出て、一の坂川を改めて皆で考えた「一の坂川ワークショップ」。

十二のグループに分かれた参加者七十人は、おいしくおにぎりを食べられる屋外空間の条件をあげる「おにぎりワークショップ」、八か所のチェックポイントで川から町並みを検証する「まちオリエンテリング」、自分たちの目で良いもの、悪いものを探す「宝物さがし」の三つのアプローチを試みました。



また、ゴミなどの環境問題や看板などの景観についての指摘も交え、それぞれの視点から一の坂川を見つめた有意義な研究集会となりました。

「YICA」とは?

「YICA」(イッカ)とは、山口現代芸術研究機関のこと。現代美術を核としながら、様々な分野の現代芸術の活動を紹介したり、創造的な活動や学習などを行ったりする施設です。また、現代芸術を通じての交流の場であり、現代芸術の体験の場でもあります。この研究機関を設置しようと、昨年九月に発足したのが「YICA設立準備会(奥津聖代表)」。

同設立準備会では、「芸術が時代の社会や思想、精神を反映し、教育や生活、まちづくりにいたるまで様々なものごとくに広く関連していることを、多くの人に発見してほしい」と活動されています。

デザインミーティング'95

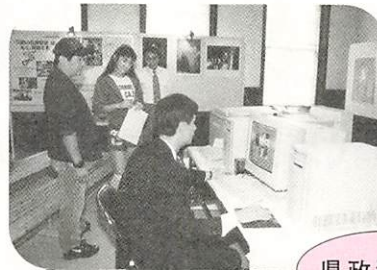


オープニング ファッションショー

レーザー光線と音楽に彩られた県政資料館を舞台に詩仙堂デザイナー田村均氏によるファッションショーで華やかに開幕。

印刷フェア(地球は印刷惑星)

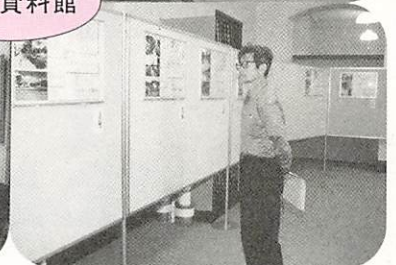
新しい印刷技術の紹介。



県政資料館

企業モノ・コト展

デザイン心を感じる製品を展示。



ギャラリーやまぐちcity

中也を中心に市の活動をPR。

'95手作り景観賞"審査会

応募された景観の写真を皆で審査。

デザインミーティング'95

「いいまちだね」。10月1日のデザインの日、そんな若い人たちの会話を耳にしました。9月29日、30日、10月1日を中心に行われたデザインミーティング'95では、県や市など23団体で構成されている実行委員会により、デザイン関連産業の発展と産業のソフト化のため、山口市・防府市・小郡町・秋穂町内の15会場で35のイベントを開催。素敵なデザインがまちと暮らしに潤いを与えてくれました。※今後も、10月21日に「ザ・けんせつフェスティバル山口」(維新公園ビッグシェル)、21・22日に「住宅団地をデザインする」(県スポーツ文化センター)が催されます。

パワーボム'95

バンド演奏など多彩な表現活動が行われました。



笑顔の写真展

山口商店街で撮影された笑顔。写真はグランプリ賞(部分)。



中市コミュニティホール



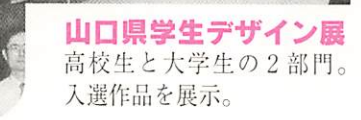
山口県デザイン展

山口県デザイン協会会員のいろいろなジャンルの作品。



山口県学生デザイン展

高校生と大学生の2部門。入選作品を展示。



ふるさとの黄奇木いちようフェスタ

山口市の木は、いちよう。山口市商店街連合会と市では、たくさん黄色い風船を竹に下げ、中心商店街のアーケード内にいちよう並木をつくりました。

また、道場門前では、紙で作ったいちようの葉っぱに子どもたちの将来の夢を書き込んでもらい、パネルに描かれた木に張りつけてもらいました。「ステキなお母さんになりたいです」「けいさつの人になりたい」「大スターになる」など、いちようの木はたくさん夢の葉でいっぱい。かわいらいライフデザインでした。



国勢調査

ご協力ありがとうございます

ご協力ありがとうございました

調査の結果は、各種の行政を行うための基礎資料として利用されます。もしも、調査がお済みでない方は至急、市の国勢調査担当までご連絡ください。

☎ 22-4111 内線 4601

山口市の戦後50年 ⑨

戦後歴代市長と山口市政の歩み

9回にわたり連載しました「山口市の戦後50年」は今号で終わります。最終回は、戦後50年の山口市政の歩みと、その時々の方長の言葉を当時の市報を中心に集めて構成しました。

特集の終わりを迎え、原稿・写真のご提供、取材へのご協力をはじめ、連載中にお寄せいただいたご意見などにあらためてお礼申し上げます。

ご愛読ありがとうございます。

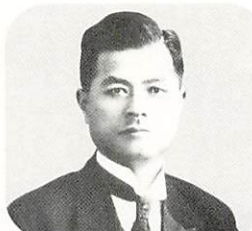


第6代 高安彦市長 (昭和19年6月～20年10月)

戦争末期に就任した高市長は、二十年十月十一日、辞表を提出した。一応の理由は病気がであるが、敗戦による衝撃と責任をとったものである。

(山口市史より)

市議会選任による最後の市長



第7代 井上武男市長 (昭和20年11月～22年1月)

終戦直後の混乱期に大過なく任務をまっとう

終戦後、市民の暮らしの最大の問題は、その日その日の食糧をどうするかでした。二

十一年七月には主食配給が一人一日一合九勺に、農家にもさびしい供出が割り当てられ、闇値も横行しました。

一方で戦時下に大合同合併した市の南部地域から早くも分離の声が上がりました。

また、新教育法による六・三学制のスタート、農地改革、戸籍法改正など諸制度改革の時代でもありました。

(山口市史より要約)

「八万市民一人一人のよき公僕として」



第8・9代 山下太郎市長 (昭和22年4月～昭和28年10月)

復興期・新生山口へ

「顧みまするに、私の就任いたしました当時は終戦後の日なお浅く、インフレの波はおさまらず、道義は地に落ち、新生日本の前途はまったく憂慮にたえないものがありました。」(二十五年三月市議会) 山下市長は、「明るく住みよい理想郷山口の建設」を公約に初の民選市長として登場しました。

就任早々の大きな課題は新制総合大学の誘致でした。「大山口市の実現と、市の真面目を発揮するために、総合大

学実現に勇進したい。」(二十三年の年頭の辞)の決意で中国各県との激烈な大学誘致合戦を制し、二十四年六月山口大学が開学、「学都山口」の伝統は守られました。

二十四年十一月には小郡町が分離しました。ちょうど復刊第一号(同年十一月号)となった山口市民報で山下市長は「特に小郡地区の分離によって切り離された形の南部地区の運営には万全の方法を講じる。大山口市建設の心臓部、県下交通の要衝として果たしてきた同町を失っても、市の基本方針に変わりはありません。大山口市建設の理想に向かってがむしゃらにつき進むので、全市民の皆様の一層の御協力をお願いする」と語っています。小郡町との合併は、以後、歴代市長の最大の課題となりました。

その他この時期には、阿知須町の分離(二十二年)、市役所の火災(二十三年)、山口市教育委員会の発足(二十七年)などがありました。

「市政は皆さんのもの」



第10・11代 長井秋穂市長 (昭和28年11月～昭和34年6月)

「財政危機に苦心」

「市制施行当時と比べると面積・人口とも数倍になり、一路市勢躍進の実を示してまいりましたが、現在山口市は空前の困難な時期にありま

す。決意を新たに数年來の財政を立て直し、責任ある市政の実践に邁進する」。

就任まもない二十九年四月、市制施行二十五周年に寄せた長井市長のメッセージです。財政逼迫の兆候は山下市長時代からで、市役所、白石小学校などの相次ぐ火災、新制中学校の建設、台風・水害の復旧費などが重なったため

でした。商店街などへも深刻な影響を与え、市職員の給料も分割・遅配が珍しくない状況でした。

国の「地方財政再建促進特別措置法」の適用を受け、全国の自治体でも最も早い財政再建整備団体となり、七か年計画によって、二億六千二百余万円の赤字を解消することになりました。「再建の前途に苦難を予測されましても、山口市百年の大計のため大山口市建設の根本理念は不動であります」(三十一年三月議会)。

三十一年一月「大山口市建設委員会」が発足、同年十一月には鑄銭司と合併し、計画の第一歩を踏み出しました。

「山口市と鑄銭司村を一体化して総合開発をし、更に他の四町(大内・小郡・秋穂・阿知須)との合併を期し、一大飛躍をすることが、新山口発展の使命となる」と市民報合併記念特集号で述べています。

この他、三十一年二月に自衛隊山口駐屯地の開隊式が行われました。財政危機を好転させるきっかけと期待されました。

「市民の皆様を忘れない。市役所は市民の皆様のために」



第12～15代 兼行恵雄市長 (昭和34年7月～昭和50年7月)

今日の山口市の基礎をつくる

「山口市の将来の大計を樹立したい」(三十五年年頭所感)と「山口市建設総合計画」は、山口市最初の総合計画として三十六年策定されました。県都として広域都市圏をつくることと、山口湾臨海工業地帯形成による産業構造の改善を基本理念としています。

昭和三十八年には山口国体が開催されました。国道9号の市街地貫通、山口・防府間

国道改修工事を中心に街の様子は一変し、山口市の近代化は一大飛躍を遂げました。「十萬市民の真心が、あの世紀の大事業といわれた『山口国体』を成功に導いたのです。私たちは全市民が一九となった力を合わせれば、どんなことでもできるという尊い体験を得ました」(昭和三十三年年頭所感)。

社会情勢の変化も激しくなり、四十五年、「山口市開発基本構想」が新たに策定されました。広域都市圏の構成が基本理念のひとつとしてあげられています。「昨年、広域市町村圏、地方生活圏の指定を受け、山口・防府圏二市六町の広域行政が始まります。これは将来の山口市にとって、非常に重要な意味を持つ画期的な第一歩であると信じています」と年頭所感(四十六年)で述べ、後の広域行政の基本となりました。

四期十六年という歴代市長の中で最長期にわたって市政を担当した兼行市長の時代は、大内町と合併(三十八年)、湯田(四十年)・白石(四十三年)大殿の一部(四十五年)で新住居表示実施、小郡町に合併申し入れ(四十年・四十七年)、乗客減への対応として市営バスワンマンカー運行開始(四十二年)、山口大学平川移転(四十八年)、公共下水道

事業開始(四十九年)など多くの出来事がありました。「お互いの協力による和の政治」

一期目の就任期間中は、四十八年のオイルショック、狂乱物価などの影響を受け、市も厳しい財政難に陥っていました。「過去四年間、厳しい経済事情の中で市政の健全化に意を注いできました。この間の私の気持ちは『忍』の字がびったりくるものでした。このかいあって財政の建て直しも軌道にのり、昭和五十四年度は全予算の三十%を超える建設的事が行えるまでになりました。現在市内のあちこちで、下水道、道路、学校、運動広場など近代的な都市づくりへの建設の槌音が響いていることは大変うれしいことです」(五十四年、二期目の市長就任の抱負)。

五十五年、山口市基本構想がまとまりました。「この構想



第16~18代 堀泰夫市長 (昭和50年7月~昭和62年4月)

「財政難を克服 高度情報都市づくり、国際交流はじまる」

は道路や学校施設といったモノだけにとどまらず、『緑ゆたかな伸びゆく人間都市やまぐち』の実現にも意を注いでいます」(五十五年年頭所感)。

五十五年にパンプロローナ市と姉妹都市提携、六十年に済南市と友好都市提携。都市と都市、人と人との国際交流が始まりました。

また、今日の本格的な高度情報化社会へ向けての幕が上がりました。「昨年は、テレトピア構想のモデル都市に山口地区(山口・防府市、小郡町)が指定され、他都市にさきがけ高度情報化社会へ一歩踏み出すことになりました」(六十年年頭所感)。

この時代には、山口・小郡地域広域水道企業団発足(五十四年)、宇部テクノポリス地域指定(五十九年)、全国高等学校総合体育大会の開催(六十一年)などがありました。



第19代 小林兼年市長 (62年4月~平成2年3月)

「企業誘致で 経済活性化、若者定住を」

「ふれあいの政治」

「基本政策としては、まず第一に中核都市づくり。中核管理機能の集積や経済活性化、その他必要な施策を進めていきたいと思っています」(就任のあいさつ)。

中核都市づくりのためにも、雇用の場の確保や若者定住促進は重要な政策課題でした。任期中に五つの企業が進出決定、また受け皿となる山口テクノパークの造成や鑄銭司団地開発推進協議会を設置しました。

平成元年には、今日の山口市政の柱となっている「第四次山口市総合計画」が策定されました。「二十一世紀に向けての市政の方向づけをいたしました。基本理念であります『自然と文化をはぐくみ躍動する中核都市やまぐち』の建設に邁進する所存であります」(平成二年年頭所感)。

この他では、市議会「高度情報通信都市宣言」、山口・小郡消防組合発足(元年)などがありました。



第20・21代 佐内正治市長 (平成2年5月~現在)

「多様化する社会への対応」

「市民の皆さんに わかりやすいクリーンな政治」

就任にあたって「中核都市づくりは大きな課題。山口市の都市機能を考えたとき、行政・教育・文化機能は県下でも非常に高いレベルにありますが、経済管理機能のアップをはかり、県都としてバランスのとれた都市にしなければなりません」と所信を表明しました。

「第四次山口市総合計画」の前期基本計画に沿って、ニューメディアプラザ山口の完成、都市型ケーブルテレビの開局など高度情報都市としての基盤整備が進むとともに、山口テクノパーク、鑄銭司団地の分譲が開始されました。また高齢化社会に向けて「山口市老人保健福祉計画」の策定や在宅介護支援センターの整備、さらにクリエイティブ・スペース赤れんがの山口・スペース赤れんがの山口世界音楽祭や中原中也記念館など山口からの文化発信も活発になりました。

そして、情報化・高齢化・国際化などの進展、個人生活でも「ゆとりや豊かさ」が求められるなど諸情勢の変化に的確に対応しながら市政を推進するため、本年三月、「第四次山口市総合計画」の後期基本計画が策定されました。

この他、公州市と姉妹都市提携(五年)、小郡町に合併申し入れ(七年)などがあります。

「山口市の戦後50年」の連載をとおして痛感させられることは、昭和ひと桁以前に生を受けた人々にとってこの時代は大変波乱に満ちたものであったということです。

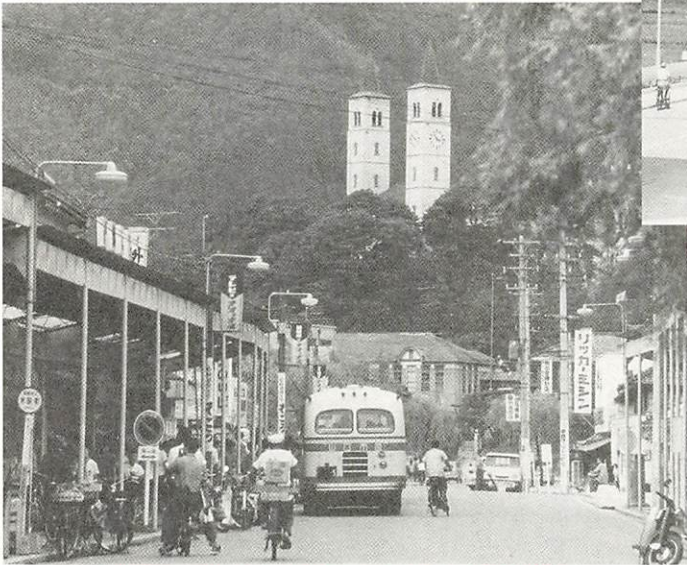
戦争末期の苦しくても勝利を信じて頑張った頃、敗戦の混乱と物資の欠乏の中で新しい政治や社会の仕組み作りや戦災復興に立ち上がった頃、三種の神器や三C(カー・クーラー・カラーテレビ)のために所得倍増に向けてがむしゃらに働いた頃、そして相次ぐ石油ショックにより高度成長時代は終わりを告げ、物の豊かさから心の豊かさが求められる時代へと世は移り変わってききましたが今なお原爆被爆者や外国残留邦人問題など戦後処理が続いています。

山口市は幸いにも戦災を受けませんでしたので、大規模な戦災復興事業はありませんが、この五十年の歴史は歴代の市長さんや先輩各位が大山口市の実現を目指して厳しい財政事情の中で懸命の努力をしてこられた結晶でもあります。

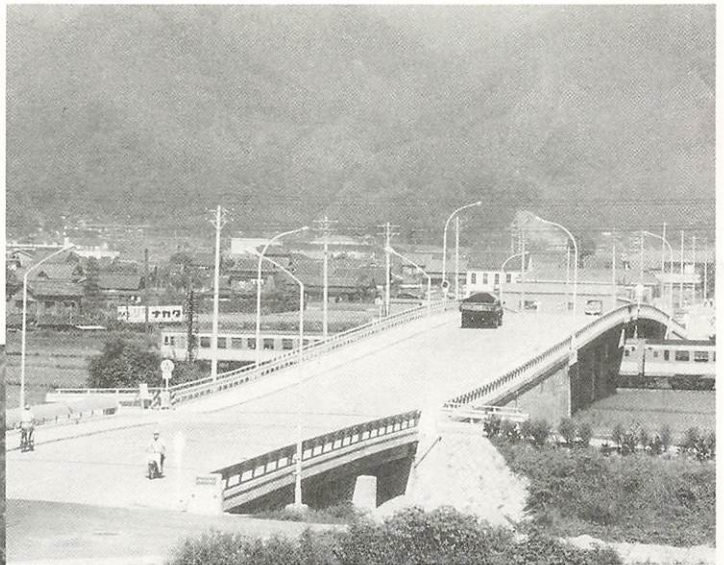
現在に生きる私どもは諸先輩の偉業にこたえるために、第四次総合計画の目指す山口市の都市像の実現に向けて一層の努力をしなければと自戒する次第であります。

山口市長 佐内 正治

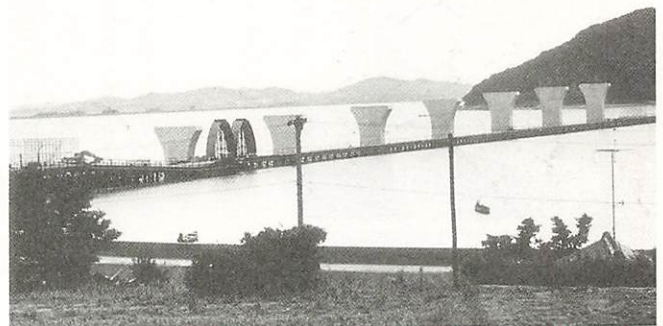
写真にみる 山口市の 戦中戦後③ —戦後—



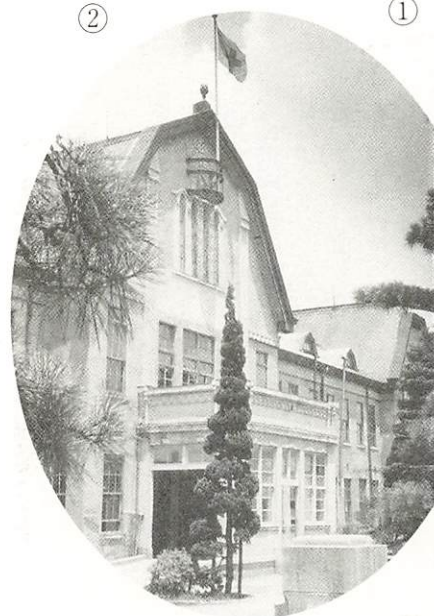
新町商店街からサビエルを望む（昭和37年）



鱈石の跨線橋。防府—山口を結ぶ県道の改修工事で国道262号（現・県道）となった（昭和38年）



工事中の周防大橋（平成2年）。4年に完成



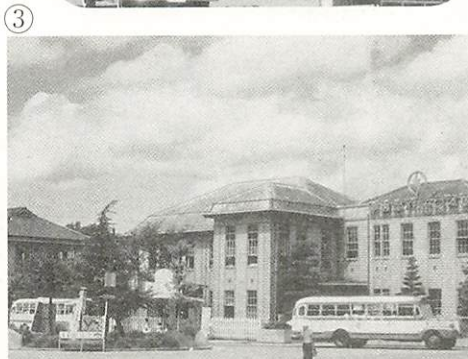
②



①



五重塔の屋根のみわた 檜皮ぶきのふき替え工事。本格的なふき替えは27年以來（昭和55年）

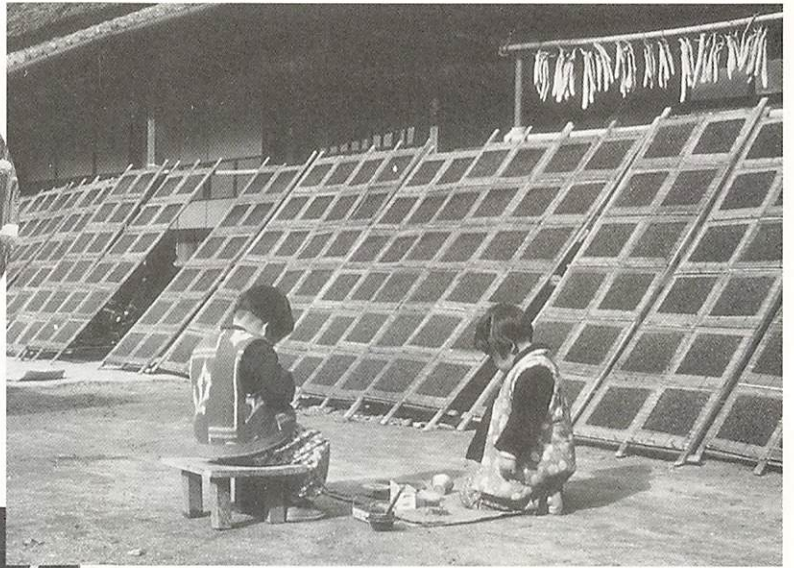


③

① 中市にあった山口中央郵便局。昭和五十三年に中央に移転新築された
② 山口赤十字病院の玄関。昭和十五年、建て替えのため解体された
③ 中国電力山口支店旧社屋。昭和三十三年に現社屋に建て替わった



嘉川の海苔（右）とカキ打ち（下）。上は二鳥の甲高たまねぎ。いずれも昭和30年代に盛んだった



木町子ども会のキャンプでのラジオ体操。左手に昭和40年▶満月の庭が完成した



昭和35年、山口市連合婦人会総会が湯田小で開催され、各地区対抗のパレーボールが行われた



▲昭和30年代の給食風景

▼昭和34年赤ちゃんコンクール



第24回山口市文化祭

11月3・4・5日

プログラム

◇11月3日(金・祝)
市民会館大ホール
〈昼の部〉午後2時～午後4時

○太鼓、民謡、新舞、腹話術、奇術、バレエ、舞踊
〈夜の部〉午後6時30分～午後8時30分

○詩吟

◇11月4日(土)
市民会館大ホール
午後2時～午後4時

○邦楽

◇11月5日(日)
市民会館大ホール

午後2時～午後4時

○創作劇「犬鳴の滝」
○創作劇「長沢芳塘讃」
○入場料 1,000円

◇11月4・5日(土・日)
市民会館
午前10時～午後5時
(5日は午後4時30分まで)

○総合華展

○盆栽展

○陶芸・染色展

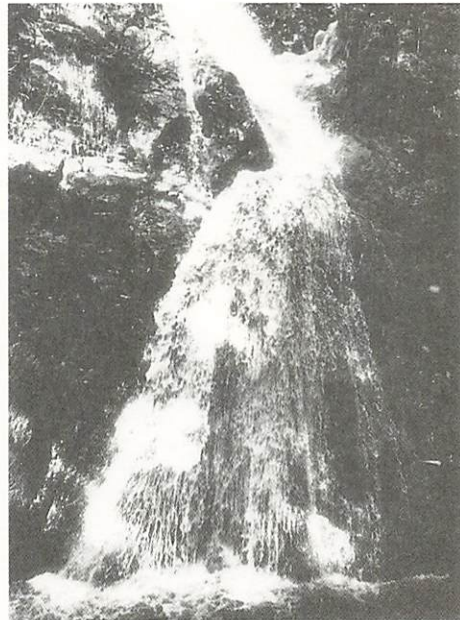
○書道・俳画展

午前10時～午後4時

○煎茶席

○抹茶席

○茶券 300円



犬鳴の滝

「盲人が隣村の篠目へゆくため、日ごろから飼っている犬を連れて旅立ち、難所の上を歩いていくうちにあやまって足を踏みはずし、深い滝つぼに落ちて死んだ。それを見た犬は、三日三晩滝の上で鳴きとおしたのち滝つぼに身をおどらせて主人のあとを追った」という仁保上郷にあ

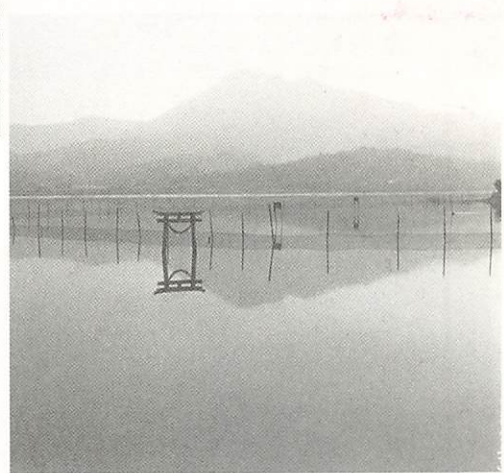
創作劇「犬鳴の滝」

犬鳴の滝の名の由来といわれる伝説を、劇団演劇街の広島友好さんが脚本化されたもの。広島さんは、「どうしたらこの伝説を芝居にするか苦労しました。犬の役も人でやることにし、この伝説が本格的な演劇になって面白いものが出来ました」と話しておられました。

演出は演劇サークルトラムの品川三男さんが担当。演劇サークルトラム、尺八、詩吟、黒田バレエ、琵琶などの各団体が参加、仁保に伝わる悲哀に満ちた伝説が本格的な劇として上演されます。

創作劇「長沢芳塘讃」

東條九郎右衛門就類抄 鑄銭司の長沢の池は、今から三百四十五年前の江戸時代、一六五一年(慶安四年)に、東條九郎右衛門就類によって築堤されたものです。



長沢の池

彼は、農民と力を合わせ、少しの田畑もつぶすことなくこの池をつくりました。しかし、彼の名前はほとんど知られていません。脚本を担当された清水顯太郎さんは「東條九郎右衛門は当時の農民に非常に尊敬された人物で、長沢の池だけでなく、現在の小郡町や山口市南部の干拓、つまり樺野川の河口の開発を広く手がけたことも記録に残っており、官民が協同して成功した事業の美談をえがいてみたかった。これが地域おこしのきっかけになれば……。また、東條九郎右衛門の名前を少しでも多くの人に知ってもらいたい」と脚本づくりの苦労話をしておられました。

劇団演劇街、詩吟、尺八、黒田バレエなどの各団体が出演、東條九郎右衛門の業績がはじめて演劇として実現します。

二つの創作劇は矢野弘さんが総合演出をされ、「長沢芳塘讃」の演出補佐を劇団演劇街の柳沢悟さんが担当、芸術の秋にふさわしい出し物の幕がまもなく上がります。

このほかにも、十一月四日・五日には総合華展や盆栽展、陶芸・染色展、書道・俳画展、お茶席が市民会館で開催されます。

11月5日

防火フェスティバル

午前10時開場 山口南総合センター

催しもの

- ◇猿まわし
やんちゃな子猿の面白い演技です
- ◇バナナのたたき売り
- ◇即売コーナー
新鮮な野菜やつきたてのもち、その他もりだくさん
- ◇地震体験コーナー
起震車で震度6の地震の恐さを体験してみたいかがですか
- ◇消防展示コーナー
救助・消防資機材、防災機器を展示します
- ◇はしご車乗車体験
- ◇ミニ消防車コーナー
- ◇煙中体験コーナー
怖い煙の中を脱出してみよう
- ◇飲食コーナー
うどん、すし、その他



中村絃子ピアノ・リサイタル

☆期日 11月6日(月)

午後6時開場
午後6時半開演

☆会場 市民会館
大ホール

☆入場料 S席
3,000円、A席
2,500円、B席
2,000円

☆内容 オール
・ショパンプログラム

12の練習曲 12 Etudes Op.25
即興曲第1番変イ長調作品29
即興曲第2番嬰へ長調作品36
即興曲第3番変ト長調作品51
幻想即興曲 嬰ハ短調作品66
舟歌 嬰へ長調作品60
ほか

☆チケット取り扱いプレイガイド

〔山口〕三好屋楽器店、三好屋レコード店、山口十字堂楽器店、ちまきやサービスカウンター、OK無線道場門前店、山口音楽愛好会、文栄堂山口大学前店

〔小郡〕石井楽器店

☆問い合わせ 山口市民会館事務局
(☎23-1000) へ



消防音楽隊発足10周年記念演奏会

山口・小郡消防音楽隊の10周年を記念し、ホールで演奏会を開催します。クイズもあり楽しい演奏会です。
○演奏曲目 イスターの凱旋、天空の城ラピュタ、サンダーバード、エスパナ、国民の象徴、ワシントンポストなど10曲

公民館まつり

10月から11月にかけて各地区で「公民館まつり」や「文化祭」が公民館や小学校を会場に開かれます。公民館まつりは日ごろの学習の成果の発表の場です。催しもの、農産物などの展示即売やバザーも行われ、家族連れで楽しめます。皆さんぜひご参加ください。

地区	行事名	期日
湯田	湯田ふるさとまつり	10月21日(土)・22日(日)
宮野	宮野まつり	10月21日(土)・22日(日)
嘉川	嘉川文化祭	11月3日(金)
二島	二島まつり	11月5日(日)
大歳	大歳まつり	11月12日(日)
吉敷	吉敷ふるさとまつり	11月12日(日)
佐山	佐山地区文化祭	11月12日(日)
鑄銭司	鑄銭司ふるさとまつり	11月12日(日)
白石	白石フェスティバル	11月18日(土)・19日(日)
平川	平川まつり	11月19日(日)
小鯖	小鯖公民館まつり	11月19日(日)
名田島	名田島ふるさとまつり	11月19日(日)
大殿	大殿公民館まつり	11月19日(日)
陶	陶地区文化祭	11月19日(日)
仁保	仁保農業祭	11月23日(木)

むらの中からコスモスの小さな苗が顔をそろえているのが見られます。初夏から真夏にかけて、周囲の雑草にうもれながらも懸命に背伸びしている姿を見ました。たまに、きれいに雑草が取り払われているのを見ると周囲の人たちのコスモスへの思いが感じら



大内地区広報広聴モニター 河合禮子さん

モニタ－短信

ふれあいコスモスロード

はるか鳳凰山の頂上が眺められる仁保川沿い御堀橋付近から中川橋に至る下千坊の自転車道は、暑すぎた夏に耐えて、白やピンクなどのコスモスが秋風に揺れている道です。

自転車好きな私が、ときどき通る道ですが、春には草むらの中からコスモスの小さな苗が顔をそろえているのが見られます。初夏から真夏にかけて、周囲の雑草にうもれながらも懸命に背伸びしている姿を見ました。たまに、きれいに雑草が取り払われているのを見ると周囲の人たちのコスモスへの思いが感じら

はるか鳳凰山の頂上から眺められる仁保川沿い御堀橋付近から中川橋に至る下千坊の自転車道は、暑すぎた夏に耐えて、白やピンクなどのコスモスが秋風に揺れている道です。

通学、通勤など、この道を通る人々は、今頃の季節になると、花の姿に心がなごむの

ではないでしょうか。中川橋のたもとにある理髪店の主人の話では「毎年、毎年美しい花をいっぱいつけてくれているのですが、今年は天候のせい、ちょっとまばらに咲いています。しかし、道の側の人たちは夏には水をやり、草をとっておられますよ」ということでした。

この自転車道「コスモスロード」の名にふさわしい手入れを怠らない気持ちを持ち続けられる下千坊町内会、寿会、子ども会の方々の努力とコスモスにかかるやさしい心が今花開いているのです。このように美しい、やさしい道があることに通行人の一人として感謝しています。

大歳小100歳地域でお祝い

制服でつづる

大歳小100年の歩み

お父さんが大歳小校歌の作曲者で、山口市出身の世界的ピアニスト弘中孝さんを特別ゲストに迎えるなど多彩なプログラムで構成した記念式・竣工式。先生と児童をモデルにした「制服でつづる大歳小百年の歩み」も大好評でした。



△創立時代
校長先生はヒゲをたくわえ、児童は男女共に着物にゲタでした。



▷大正時代
国内はこの頃、第一次世界大戦や大不況など波乱に満ちた時代でした。



△昭和、戦時中
学校でも修練農場ができ、児童は米・果樹・野菜・お茶・山林の育成などに励みました。

「大歳小が100歳の誕生日の年に

入学できてとてもうれしいです」

十月一日、大歳小学校創立百周年記念式・校舎増改築工事竣工式の「児童代表喜びのこぼし」での一年生の内野ひろちゃんのあいさつです。
大歳小学校は明治二十八年十月一日、大歳尋常小学校として創立しました。大正八年から昭和十八年までは山口県師範学校代用附属小学校となり、ここで学んだ若者が先生として巣立っていきました。

今年三月で創立以来八千五百八十五人の卒業生をおくりだしています。
創立百周年を迎えるにあたり、大歳地区では地域がごぞつてお祝いしようと今年一月「創立百周年記念事業実行委員会」を結成、「大歳小百年史」の編纂、記念碑の建立、タイムカプセルの埋設、大歳小百年展などの事業を行いました。また、記念式当日、児童の人文写真を下敷にして全校児童にプレゼントしています。

実行委員会会長の三井茂さんは「地区をあげて協力してもらったのが何よりの宝です。事業費は一千四百万円かかりましたが、これも趣旨に賛同してくださった地区民のおかげ、自治会振興会・卒業生・PTA・学校の結び付きの強さが大事と実感しました。
これからも公民館活動や生涯学習が大切と思います。親の幅広い活動が子供に伝わります。学校・家庭・社会の連帯がほちほち実を結びつつあるんじゃないでしょうか。そんな会長さんの期待にこたえるように、六年生の泉屋祐介君はこんな言葉であいさつしました。

「ここで学び、地域の方々に育てられたことは忘れません」



創立時の校舎



児童代表による喜びのこぼし

堀氏・大隅氏 済南市 栄誉市民受賞

堀泰夫氏と大隅健一氏が、中国・済南市より栄誉市民として表彰を受けられ、九月二十五日に済南市で同市長から栄誉証書が授与されました。
昭和六十年、堀氏は山口市長として、大隅氏は山口市日中友好協会会長として済南市と山口市の友好都市の締結にご尽力され、以降も両都市の親善に多大な貢献をされています。
両氏にお話をうかがいました。
堀氏 「この賞は、市民の皆様とともに受けたものと思っております。また、今回、済南市を訪問して思ったのは、街がたいへん発展し、より立派になってきたということですね。すばらしい街です」
大隅氏 「山口市と済南市の友好締結について努力した結果、図らずも表彰となり、ありがたく思



大隅健一元山口市日中友好協会会長



堀泰夫元山口市長



△中国の大地に眠る 残留婦人の霊を慰める

瑠璃光寺にある中国残留婦人慰霊の碑は、平成4年に中国残留婦人交流の会(山田忠子会長)が建立、その後毎年10月1日を「慰霊の日」として法要を行っています。

東京など全国各地からの参列者も含め約60人、今年はずいぶん一時帰国中の残留婦人の一行も参加し、望郷の念かなわぬまま亡くなった婦人たちに祈りをささげました。



▼「青少年の社会参加の促進」提言

9月29日、山口市社会教育委員会議(高田良雄総括)より市教育委員会(井上洋教育長)に、山口市における「青少年の社会参加の促進」の提言がありました。これは、平成5年10月、青少年の地域参加と、青少年と関わる生涯スポーツについて、教育委員会からの諮問により行ったもの。市では、この提言にもとづき、青少年の社会参加を促進するための施策を進めます。



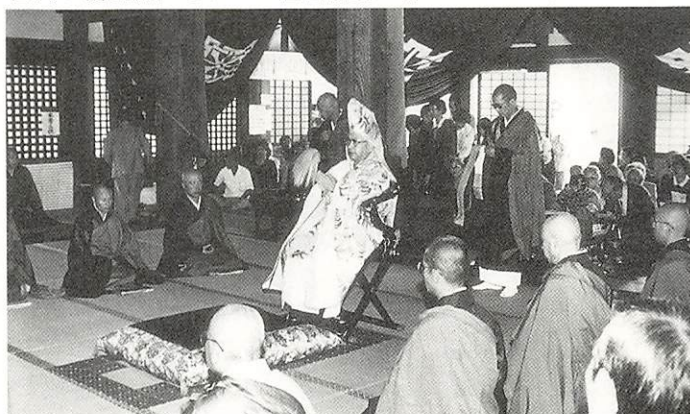
▽大内晴持の位はい 450年ぶりに山口へ

大内氏31代義隆の後継者晴持(高知県の土佐一条家に嫁いだ義隆の姉の子で、3歳の時養子に)は、1543年、20歳の時に出雲で水難事故にあい亡くなりました。位はいは高知の金剛福寺にまつられていますが、このたび、大内文化探訪会(藤村順一郎会長)の働きかけで、義隆の菩提寺龍福寺(大殿大路・林正孝住職)に分霊され帰ってきました。9月26日、恒例の義隆忌にあわせて追善法要が行われました。



▲スズムシが当たった! S L やまぐち号山口市サービスデー

9月15日、津和野に向かうS L やまぐち号の乗客の皆さんに観光パンフレットを配り、くじを引いてもらいました。当選品は、スズムシのほか、山口特産の大内人形、大内塗など。このサービスデーは、山口線S L 運行対策協議会により行われており、沿線の市や町がそれぞれの企画で催されています。



同和問題を 考える



去る六月二十三日、山口地区の幼・小・中・高・公民館の関係者による学校同和教育研修会が、名田島公民館で開催されました。校種、地域間の連携を深め、同和教育の深化・充実を図るのが主旨です。当日は、事例発表と分散会で研修を深めました。事例は、いずれも「同和教育は人間の生き方にかかわる教育である」という考えが根底にあり、豊かな人権感覚を身につけた児童・生徒の育成を目指した意図的・計画的な実践の発表でした。

幼稚園・小学校においては、小学校六年生から始まる同和問題の歴史的背景についての学習で、いわれなき差別の非合理性に憤りを持つ感性を身につけるよう、一

同和問題を 考える



貫した学習が進められています。更に、中・高等学校と学習を深めることにより、同和問題に対する正しい認識と豊かな人権感覚を育もうとしています。

同和教育は、学校・家庭・地域社会が緊密な連携をとり、一体となって推進することが大切です。学校での教育の成果が、家庭・地域社会の誤った見方・考え方によって壊されることがあってはなりません。特に、家庭は人間形成にあずかる基礎的な環境であることを考えるとき、家庭の持つ教育的機能は極めて重要になります。つまり、親の生きざまは無言の教育であり、子どもは親の後ろ姿で学ぶものだからです。ですから、

同和問題を正しく理解するためにII

家族から始まる小さなデモクラシー

学校での学習や社会のできごとに関心を持ち、それを話題に家族ぐるみで話し合ったり、懇談会や研修会などに積極的に参加したりして、同和問題を正しく理解し、人権感覚を磨き、その解決に向けての実践力を身につけた親(大人)になるうではありませんか。

同和教育は、学校・家庭・地域社会の誤った見方・考え方によって壊されることがあってはなりません。特に、家庭は人間形成にあずかる基礎的な環境であることを考えるとき、家庭の持つ教育的機能は極めて重要になります。つまり、親の生きざまは無言の教育であり、子どもは親の後ろ姿で学ぶものだからです。ですから、

募集コーナー

～大内文化が甦る～ 染色講座

月日	テーマ	講師
11/15	大内時代の衣装と染織について	県美術館研究員 福島恒徳先生
11/29	文学にみる色の世界	山口女子大学名誉教授 福田百合子先生
12/6	大内時代の衣装から学ぶ染色法	美術工芸作家 藤木律子先生
12/20	現代に甦る大内時代の染色 実習①(織り)(文様を写す)	〃
1/17	実習②(縫う)	〃
1/31	実習③(染色)	〃
2/7	実習④(のり染め)(文様を写す)	〃
2/21	実習⑤(のりを置く)	〃
3/6	実習⑥(染色)	〃
3/27	実習⑦(合評としめくり)	〃

- 時間 午後1時30分～3時30分
- 場所 山口ふるさと伝承総合センター(下堅小路12)
- 募集人員 20人(先着順)
- 材料費 8,000円(先作品分)
- 申し込み 10月16日(月)から同センター(☎28-3333)へ

パソコンロータス1.2.3.講習会

- 日時 11月6・9・10・13・15・17日、午後6時～9時
- 場所 県立東部高等産業技術学校
- 内容 表計算、グラフ作成、データベース作成技法の習得
- 募集人員 20人(応募者多数の場合)

ソフトバレーボール 山口県大会(ミニの部)

- 日時 11月23日(木・祝日)午前9時開会
- 場所 徳山市体育館(徳山市毛利町)
- 種目 6年生の部・5年生の部・4年生以下の部
- チーム編成 学年別に4～8人で編成
- 参加料 無料
- 申し込み 11月15日(水)までに、山口県ソフトバレーボール連盟事務局 山崎治人(〒746新南陽市川手1-4-16 ☎0834-62-0420)へ
- 問い合わせ 市教育委員会体育課(☎22-4111)へ

ソフトバレーボール リーダー養成講習会

- 日程 11月18日(土)午後1時～講義:ソフトバレーボールの競技規則、各種大会の運営法など
19日(日)午前9時～実技:ソフトバレーボールに適した準備運動・トレーニング、指導法(基礎技術・応用技術)など
- 場所 山口南総合センター
- 受講料 5,000円(テキスト代、弁当代など)
- 申し込み 10月31日(火)までに、山口県ソフトバレーボール連盟事務局 山崎治人(〒746新南陽市川手1-4-16 ☎0834-62-0420)へ
- 問い合わせ 市教育委員会体育課(☎22-4111)へ

第2回看護能力再開発講習会

- 日時 12月5～8日・11日・12日、午前9時～午後4時
- 場所 山口県看護研修会館(防府市大字右田)
- 対象 保健婦(士)・助産婦・看護婦(士)・准看護婦(士)の免許所有者で就業していない人
- 講習内容 看護の動向、看護技術、接遇について、救急法など
- 受講料 無料(ただしクリーニング代などは受講者負担)
- 募集人員 30人
- 申し込み 11月24日(金)までに、山口県ナースセンター(〒747防府市大字右田字須崎2686 ☎0835-24-5791)へ

第7回 松陰の道(萩往還)歩行大会

- 期日 11月5日(日)雨天中止
- 集合時間・場所 午前9時・山口県教育会館
- コース 山口県教育会館～松陰記念館～夏木原キャンプ場～一の坂六軒茶屋～山口県教育会館(午後2時30分着)
- 参加料 無料
- 指導者 松陰研究家ほか
- 持参品 弁当・水筒など
- 申し込み 10月25日(水)までに、団体または個人名・人数・住所・電話番号・貸切バス利用の有無を県教育会山口支部 原 祥文(☎22-0383)へ
- ※山口県教育会館から夏木原キャンプ場まで、貸切バスで輸送します。定員50人になり次第締め切ります
※途中参加もできます

訂正

10月1日号15頁、第6回青空まつりの記事で、開催時間が午後10時～午後3時となっていたのは、午前10時～午後3時の誤りでした。訂正しておわびします。

南総合センター「テニス教室」

- 日時 十一月四日、十二月二日の毎週土曜日、午後二時～三時三十分
- 場所 山口南総合センター
- 対象 一般男女で運動ができる人(通院中の人は主治医にご相談ください)
- 募集人員 四十人(先着順)
- 受講料 三千円(保険料おまけ)
- 申し込み 十月十七日(火)から電話または山口南総合センター窓口(名田島二一八-一 ☎321-8333・小郡721-8333)へ
- ※運動のできる服装で、ラケット(硬式)、タオルを持参してください

- 昼食代 七百元(当日徴収)
- コース
- ・第一回 市役所、市議会議場、市保健センター、サンフレッシュ山口、湯田公民館、大内館跡、清掃工場、交通局、西京スタジアム、市役所
- ・第二回 市役所、中原中也記念館、山口大学、山口・小郡地域広域水道企業団、名田島公民館、グレンプラ



- 期日 第一回 十一月二十七日(月)
第二回 十一月二十八日(火)
- 集合時間・場所 午前九時までに市役所玄関前
- 募集人員 各八十人(応募者多数の場合は抽選)
- 申し込み 往復はがきに希望講習名・住所・氏名・年齢・連絡先電話番号を記入のうえ、10月28日(土)までに山口県立東部高等産業技術学校(〒745徳山市下馬屋163-1)へ
- 申し込み 往復はがきに希望日・住所・氏名・年齢・電話番号を記入して、十一月二日(必着)までに市広報広聴課(亀山町二二一 ☎221-4111)へ

動くふるさと教室 参加者募集

- ザやまぐち(カントリーエレベーター)・山口県セミナーパーク・山口テクノパーク・市役所

催し物とお知らせ

用途地域、準防火地域、特別用途地区および朝田ヒルズ地区計画の変更案を縦覧

市都市計画課では、用途地域、準防火地域、特別用途地区および朝田ヒルズ地区計画の変更案の縦覧を行っています。

なお、当該都市計画の案について、縦覧期間満了の日までに、用途地域については山口県知事に、そのほかについては市に意見書を提出することができます。

また用途地域の変更の案については、各出張所に参考図を備えております。

○期間

◆用途地域の変更の案 10月20日(金)から2週間

※一部について素案より変更があります

◆準防火地域および特別用途地区の変更の案 10月20日(金)から2週間

◆朝田ヒルズ地区計画の変更の案 10月20日(金)から2週間

○縦覧場所 市都市計画課(用途地域の変更の案については、県都市計画課においても縦覧できます)

○問い合わせ 市都市計画課(☎22-4111)へ

中小企業で働くみなさんへ

県内に住所または勤務先を有する中小企業で働く従業員のための共済制度があります。

月々わずかな掛け金(1型450円・2型900円・3型1,500円・高齢者型450円 ファミリー型500円)で死亡、障害、入院、住宅災害等の事態に対して給付されます。

○問い合わせ 山口市労働福祉共済会(市商工観光課内☎22-4111)へ

何でも金融相談会

中小企業の方を対象に、信用保証協会・国民金融公庫・商工会議所担当員等による相談会を行います。

○日時 10月26日(木)午前10時～午後3時

○場所 山口勤労者総合福祉センター(サンフレッシュ山口/湯田温泉)

○問い合わせ 市商工観光課(☎22-4111)へ

トークとコンサートの夕べ4

○日時 10月28日(土)午後6時30分～8時30分

○場所 C・S赤れんがホール

○内容 トーク『自立生活はたのしமான SON』講師:大友章三氏、コンサート『October』"Two Men and a Mustache!"(2人の男とヒゲ)

○入場料 800円(当日900円)

○問い合わせ トークとコンサートの夕べ実行委員会 太庭晴子(☎32-6855)へ

小型ボイラー特別教育

○日時 10月25日(水)午前9時～午後5時、10月26日(木)午前9時～午後1時

○場所 10月25日…小郡町農業協同組合2階(小郡町明治北)

10月26日…第一産業株式会社(防府市三田尻)

○内容 ボイラーの構造・付属品に関する知識、小型ボイラーの運転、点検など

○受講料 会員8,000円 非会員10,000円

○テキスト 「小型ボイラー取扱い」(日本ボイラ協会発行)700円

○申し込み期限 10月23日(月)

○問い合わせ (社)日本ボイラ協会山口支部(☎0834-32-2942)へ

※1日目と2日目は会場が変わりますので、注意してください

第1回赤い羽根共同募金チャリティーゴルフ大会

○日時 11月10日(金)午前8時から(雨天決行)

○場所 山口泉水原ゴルフ場(仁保中郷)

○方法 1チーム4人、18ホール・ストロークプレー(ダブルペリア方式)

○会費 13,000円(チャリティー、プレー代、懇親会費、賞品代に充当)

○申し込み 10月31日(火)までに、FAXまたは郵送

○問い合わせ 山口県共同募金会山口支会(下堅小路254/市社会福祉協議会内 ☎・FAX24-0543)へ

第9回流通センターまつり

○日時 11月3日(金・祝日)午前10時～午後4時

○場所 山口県流通センター広場(朝田601-3)

○内容 生鮮食料品・衣料品・日用雑貨・カー用品・酒類の格安展示即売会、飲食コーナー、餅つき、年賀はがき・たばこ販売など

○問い合わせ 山口県流通センター(☎21-2100・24-8677)へ

退職金づくりは“中退金”で

中小企業で退職金制度を設けたい場合は、安全・確実・有利な国の“中退金制度”をご利用ください。

新しくこの中退金制度に加入した企業に対しては、国が掛金の3分の1を契約月の翌月から2年間助成します。

また、途中で掛金を増額した場合においても、増額分の3分の1を増額月から1年間、助成します。

○掛金 4,000円～26,000円の15種類

○問い合わせ 中小企業退職金共済事業団広島退職金相談コーナー(☎082-240-7151)へ

11月の不燃物収集日

1日(水)	嘉川
2日(木)	久保小路・下金古曾・木町・田町・松の木町・大市諸願・新馬場・一本松・米屋町・古熊・上古熊・上堅小路
6日(月)	佐山
7日(火)	野田・大殿大路・中市・棚田A.P・八幡馬場
8日(水)	陶・鑄銭司
9日(木)	名田島・秋徳二島
10日(金)	西朝倉・西惣太夫・角下市町
13日(月)	今道・大附・熊野・天神通り
14日(火)	大内
15日(水)	三和町・西滝・元町・今市・太刀売
16日(木)	平川・新橋・西門前
17日(金)	仁保
20日(月)	上後河原・(上・中・下)清水・中讃井・荒高・天花・天花畑・東滝・元町西・前町
21日(火)	小鯖
22日(水)	吉敷
24日(金)	下堅上・東糸米・東白石・中河原・下後河原・中後河原・西白石・西糸米
27日(月)	(上・中・下)道場門前・竜王町・鑄石・今小路・新天街・新道・新町・新丁・早間田
28日(火)	宮野
29日(水)	東朝倉・東惣太夫・朝倉中央・上金古曾
30日(木)	大蔵

編集後記

▽「山口市の戦後五十年」は今回で終了することになりました。この特集は、単に山口市の歴史の一端をとらえることではなく、敗戦直後の混乱期からの立ち上がり、戦後復興、今日の繁栄を築いた先人の血のにじむような苦労と努力を再認識していただき、その意志を引き継ぎ、これからますます進むであろう国際化社会の中で、自国の繁栄のみでなく、世界の平和と経済発展のため、広い視野をもって、社会的貢献を果たすことを促していただければと思っております。

○日時 10月25日(水)午後1時30分～4時30分

○場所 市民会館小ホール

○費用 無料

○相談担当者 山口地方 法務局・広島国税局 務相談室山口分室・山口県消費生活センター・山口社会保険事務所・山口土木建築事務所・山口市

4111)へ

一日合同 行政相談所

人権擁護委員・心配ごと相談員・山口行政監察事務所・行政相談委員・弁護士

○問い合わせ 山口行政監察事務所 行政相談課(☎32-1110)または市広報広聴課市民相談室(☎22-4111)へ

健康コーナー

ツベルクリン反応検査 ・BCG接種

《北部地区のみなさん》

- ◆期日 ツベルクリン反応…11月7日(火) BCG…11月9日(木)
- ◆場所 市保健センター(糸米二丁目6-6)

《南部地区のみなさん》

- ◆期日 ツベルクリン反応…10月18日(水) BCG…10月20日(金)
- ◆場所 山南総合センター(名田島1218)
- 受付時間 午後1時30分～2時30分
- 対象 生後3か月～4歳未満の者で、BCG接種をまだ受けていない者、再検査者
- 料金 無料(母子健康手帳・体温計持参)
- 問い合わせ 市健康増進課(市保健センター ☎21-2666)へ
- ※市保健センター会場での接種については予約制になりますので、事前に電話で申し込んでください
- ※以降の接種予定は7月15日号の市報に掲載してあります

乳幼児特別クリニック

- 期日 11月6日(月)
- 受付時間 午後1時～2時
- 場所 山口環境保健所(葵二丁目5-69)
- 対象 発育・発達について心配のある乳幼児
- 申し込み 山口環境保健所保健指導班(☎22-5111)へ(予約制)

胃がん集団検診

- 期日・場所 11月6日(月)…山南総合センター 11月7日(火)・8日(水)・9日(木)…市保健センター
- 受付時間 申し込み時にお知らせします
- 対象 40歳以上の市民
- 料金 700円
- ※70歳以上の方および生活保護、市民税非課税世帯(すべての世帯員が市民税を課税されていない場合)の方は無料
- 申し込み 市健康増進課(☎21-2666)へ
- ※当日は朝食、たばこ、水、茶、薬など一切口にしないでください

高血圧予防教室

- 場所 山南総合センター(名田島1218-1)
- 対象 基本健康診査の結果、血圧が高いといわれた人や高血圧に関心のある人
- 募集人員 20人(先着順)
- 受講料 無料
- 申し込み 11月15日(水)までに、市健康増進課(市保健センター ☎21-2666)へ

回	日 時	内 容
1	11月24日(金) 13:30～15:30	「高血圧について」 阿知須共立病院 三好正規院長
2	12月1日(金) 10:00～14:00	「体験しよう 減塩食!」 阿知須共立病院 中野早苗栄養士 および調理実習

子宮がん集団検診

- 期日・場所 11月1日(水)…山南総合センター 11月2日(木)…市保健センター
- 受付時間 午後1時30分～2時
- 対象 30歳以上の市民
- 料金 600円
- ※70歳以上の方および生活保護、市民税非課税世帯(すべての世帯員が市民税を課税されていない場合)の方は無料
- 申し込み 市健康増進課(☎21-2666)へ
- ※今年度最後の検診です。お済みでない方はこの機会にお受けください

精神疾患を有する皆さんへ

- 精神障害者保健福祉手帳が交付されることとなりました。
- 対象 精神疾患を有する者のうち、精神障害のため長期にわたり日常生活または社会生活への制約がある者
- 申請・交付窓口 山口環境保健所
- 申請書類 申請書・医師の診断書または障害年金証書、年金裁定通知書、振り込み通知書の写し
- ※申請にあたっては印鑑持参のこと
- 有効期間 2年
- 問い合わせ 山口環境保健所精神保健班(☎22-5111)または県健康増進課精神保健係(葵二丁目5-69 ☎33-2944)へ

心の健康相談

- 《一般精神保健相談》
- ◆期日 11月2日(木)
- 《老人精神保健相談》
- ◆期日 11月9日(木)
- 受付時間 午後1時～2時
- 場所 山口環境保健所(葵二丁目5-69)
- 申し込み 山口環境保健所精神保健班(☎22-5111)へ(予約制)

催し物とお知らせ

第17回

山口県・山口市都市緑化祭 ～都市に緑と公園を～

- 日時 10月22日(日)午前9時30分～午後4時
- 場所 維新百年記念公園野外音楽堂前広場
- 内容 苗木の販売・球根の無料配布・植木市・バザー・緑化相談コーナー・緑化講習会・野外コンサート・お祭り広場(金魚すくい、焼き鳥、綿菓子、かき氷、ヨーヨーつり、ポップコーンなど)
- 問い合わせ 市都市緑化祭実行委員会事務局(市都市計画課内 ☎22-4111)へ



おとしよりに マッサージの治療奉仕

- 日時 10月29日(日)午前10時～正午(受け付けは午前9時30分から)
- 場所 老人憩の家寿泉荘(湯田温泉五丁目)
- 対象 70歳以上のおとしより
- 定員 70人(当日先着順・無料)
- 問い合わせ 山口市盲人福祉協会 会長 林 収(☎22-0773)へ

第二十一回 陶芸習作展

- 日時 十月二十八日(土)午前九時～午後四時
二十九日(日)午前九時～午後三時
- 場所 山口ふれあい館展示ホール(宮野上二二二 ☎23-3351)
- 内容 会員九十四人の習作 展示約二百五十点、チャリティーバザー約七百点

施設利用申し込み 窓口変更のお知らせ

- (財)山口市公営施設管理公社事務所移転に伴い、十一月一日(水)から施設利用申し込み窓口が一部変わります。
- ▼変更後
- ▼担当窓口

- (財)山口市公営施設管理公社施設管理課(上堅小路八九一 ☎28-17899)
- ▼利用受付施設名

- 中央公園野球場(市民球場/中園町)
- 市民柔剣道場(古熊)
- 榎野川運動公園(平井)
- 問い合わせ (財)山口市公営施設管理公社施設管理課(☎28-17899)へ